

社会への第1歩 182人の門出を祝う



伊橋 由里さん

「実行」を心がけ
自分なりの人生を



社会人としての自覚を胸に、新成人が集い

平成元年光町成人式

一月十五日、町民会館で一八二人の新成人の門出を祝う成人式が行われました。

町長はじめ来賓のみなさんから励ましのことばを受けた後、伊橋由里さん(篠本二区)、野村浩光さん(芝崎)、近藤裕子さん(橋場)、椎名秀治さん(五之神)が二十歳の決意を發表しました。

ている状態です。

しかし、今年の四月から就職をするので、いつまでも学生気分ではいられません。この成人式を機会に、私自身を見つめ直し、これからの私の生き方を改めて考えたいと思います。

成人というのは、経済的、

精神的に親から独立することだと私は考えるので、働きはじめる時が、私の成人としての第一歩になるのです。

また、今までは学生だという甘えから、頭の中で考えるだけで、なかなか実行に移せな

懇談会時には、久しぶりに会った友との話もはずみ、楽しいひとときとなりました。最後に成人者を代表して馬場

かったので、これからは、「実行」を心がけ、自分なりの人生を歩んでいきたいと思っています。

チャレンジ精神と

思いやりの心



近藤 裕子さん

私も昨年の十二月で二十歳になり、今までの誕生日とは違い、人生の一つの節目として重みを感じました。

私は、就職して二年目になりますが、失敗の連続で毎日が勉強です。又、社会人にな

敦子さん(西高野)が「私たちは自覚を持ち、自己の人格完成に努力するとともに、光町ならびに社会の進歩発展のために尽力していくことをここにお誓いします。」と述べ、閉式となりました。

り様々な世代の人と接することによって学んだいろいろな事を生かし、大人としての自覚を持てるよう努力したいと思っています。

二十歳になれば選挙権をはじめ、いろいろな権利が得られます。という事は、自分の責任において何でもする事ができる年になったとも言えるので、これから様々なことにチャレンジしてみたいと思っています。又、女性として思いやりの心を忘れずに、これからの人生を生きていきたいと思っています。

最後に、私を暖かく見守ってくださった両親、そして友人達、周囲の方々に心からお礼を言いたいと思います。

※野村さんと椎名さんの二十歳の決意は地下水に掲載します。